

### 事業の特徴

#### 1. より正確でより速い病理診断の実現



AIを活用した病理診断ソリューションを提供。  
Qritive社のソリューション使用により、30%の病理診断時間削減、82%の診断ミス削減、80%の病理医の判断差を削減。

#### 2. 豊富な実績



- ・NatureのScientific ReportやUSCAPなど、著名な医学雑誌や学会でQritive社のソリューションを掲載
- ・USCAP 2024でISBP-BCRFの乳腺病理研究部門第1位を受賞。その他、NASSCOMやIndia-Sweden Healthcare Innovation Centreなどから複数の賞を受賞
- ・インド、モロッコ、UAE、米国で事業を展開

### マッチングニーズ

求める  
都内企業像

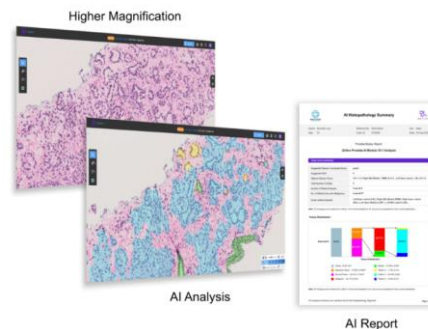
- 病理医学を研究している研究組織
- 大学病院の病理診断科の先生

実現  
したいこと

- 日本における実証実験に協力いただける病院・企業
- 日本における自社システムの日本における有効性実証

### 事業概要（サービス／製品）

- Qritive社のAI病理診断システムにより以下が可能となった
  - がん診断精度の向上
  - 病理医の業務効率の改善
  - 患者ケアの向上を実現
- 従来のデジタル病理学では、組織や細胞の画像をもとに、病理医が目で見えて診断を行っていた
- AIを活用したQritive社のシステムにより、画像から異常を自動認識することが可能
- Qritive社のソフトウェアにより、画像からがんをAIで自動判定（レベル別に色分け可能）



## 事例

実施概要	ラージブ・ガンディーがん研究所（インド・ニューデリー）における画像管理システムおよびAIモジュールの導入
詳細	<ul style="list-style-type: none"> <li>Qritiveは、前立腺、結腸、リンパ節転移の検出用に、同社の画像管理システム（IMS）とAIモジュールを導入</li> <li>IMSは、病理医が遠隔地の同僚と画像を効率的に共有し、セカンドオピニオンを得られるよう支援している</li> <li>AIモジュールにより、処理能力と精度が向上</li> </ul> 
関連URL	詳細： <a href="https://x.gd/eTUdD">https://x.gd/eTUdD</a>
実施概要	DataPathology社と共同で実施した、モロッコにおけるデジタル病理診断のマスタークラスとPantheonおよびAIモジュールの導入
詳細	<ul style="list-style-type: none"> <li>Qritiveは、前立腺およびリンパ節転移の検出のための画像管理システム（IMS）とAIモジュールを導入</li> <li>デジタル病理診断の機運を高めるため、28名の参加者を集めて初のマスタークラスを開催</li> <li>アフリカでの事業拡大に向け、さらなるパートナーシップが結ばれる予定</li> </ul> 
関連URL	詳細： <a href="https://x.gd/ucV2D">https://x.gd/ucV2D</a>

## 会社概要

- 業種分類：情報通信・AI



HP：  
<https://qritive.com/>

- 日本への進出体制

日本支社有無	無	日本語対応	不可
日本での検討状況	研究開発拠点を設置し、次のような研究開発を実施 -製品のローカライズと検査精度の向上を図ることを目的とし、病院や医療機関と協業した上で、日本人のデータを用いた臨床研究を実施する		
その他			

- 会社概要

社名	Qritive Pte. Ltd		
会社HP	<a href="https://qritive.com/">https://qritive.com/</a>		
所在地	 シンガポール		
設立年	2017	従業員数	15名
資本金	-	出資	Exfinity Venture Partners、SEEDS Capital 他
主な事業内容	がんの病理診断を行う病理医向けに、病理診断を支援するAIソリューションを開発、提供		
事業パートナー・主要顧客	病院、研究機関		
海外展開状況	インド、モロッコ、UAE、米国		
資金調達実績	2023年1月のシリーズAで750万ドルを調達		